未来を見つめ 共に歩もう 立志の丘で
Nishisenboku junior high school 11th

蒼　天

令和４年９月２２日(木)
西仙北中学校　３年部学年通信
Ｎｏ.２３
文責：栗山

立志祭に向けて準備が始まりました！

立志祭のそれぞれの役割が決定し、本日立志祭テーマの発表と各部門に分かれての顔合せが行われました。今年度は「つながり」を大切にし、いろいろな人たちに感謝の気持ちを伝えることを合い言葉に開催します。体育館でのステージ発表ではソーラン、英語暗唱弁論、理科研究発表、吹奏楽演奏、全校生徒による「大いなる秋田」が予定されています。各教室などでは教科展示、校内装飾、縁日、生徒会展が行われます。来週から本格的に始まる準備活動では、蒼天学年の一人一人が自分の役割に責任をもち、いらっしゃる方々が気持ちよく楽しんでもらえるように一生懸命に取り組むことを期待しています。

今年は中学校最後の立志祭になります。2年前は1年生として右も左も分からず参加した人も多かったことでしょう。昨年は2年生として先輩たちの姿を見て、自分たちも先輩たちのようになりたい、越えたいと思ったことでしょう。そして最上級生となった今年は、後輩の見本となって憧れの存在となれるよう、ぜひ、立志祭にかける思いを取り組む姿勢や行動などの形で表せるように頑張りましょう。史上最高の立志祭として蒼天学年の一人一人の心に残る立志祭となるようにみんなで盛り上げていきましょう。

稲刈りを体験しました　～大綱米プロジェクト～

晴天のもと、本日稲刈りとはさ掛け作業が行われ、５月に植えた苗が順調に成長し、見事に実った稲穂を一生懸命に刈る生徒たちの姿が見られました。このあと、刈った稲わらは大綱製作に、収穫したお米は学校給食や刈和野大綱引きの誘客などに活用される予定です。今回のこのような体験を通して自分たちがこの地域の伝統を守り、引き継いでいく意識が高まることを願っています。

なお、稲刈りの様子は夕方のニュース（NHK、AAB、ABS）で放映される予定です。

私は久しぶりに稲刈りをしてとても楽しかったです。鎌で稲を刈ったときの爽快感が自分を楽しくさせてくれました。また、自分たちが刈った稲が大綱引きで使われると考えると地域の行事に貢献した気持ちになって、とても誇らしかったです。父方の親戚も米を育てているので、もし機会があったら、田んぼ一面全部を一人で刈ってみたいです。

A組　生徒

今回、小学校からずっと参加できなかった稲刈りに参加することができました。思ったより腰への負担が大きくて大変でしたが、友人と協力して刈ることができて楽しかったです。とんでもないスピードで刈っている人もいて、驚きました。刈った稲の一部が刈和野の大綱引きの綱になることを知り、地域に貢献するうれしさを感じました。貴重な体験ができてよかったです。

B組　生徒

曜　日	行　事　等	授　業						持ち物、ＳＢ等
		①	②	③	④	⑤	⑥	
26(月)	あいさつこだま運動（～28 日） 衣替え移行期間(～30 日)特別日課	月１	月２	月３	月４	月５	準備 活動	体育着 SB16:50、18:50
27(火)		火１	火２	火３	火４	火５	火６	体育着 SB16:50、18:50
28(水)		水１	水２	水３	水４	水５	水６	体育着 SB16:50、18:50
29(木)		木１	木２	木３	木４	木５	木６	体育着 SB16:50、18:50
30(金)	英語検定 フッ化物洗口	金１	金２	金３	金４	金５	金６	体育着 SB16:50、18:50
10/1(土)								
2(日)								